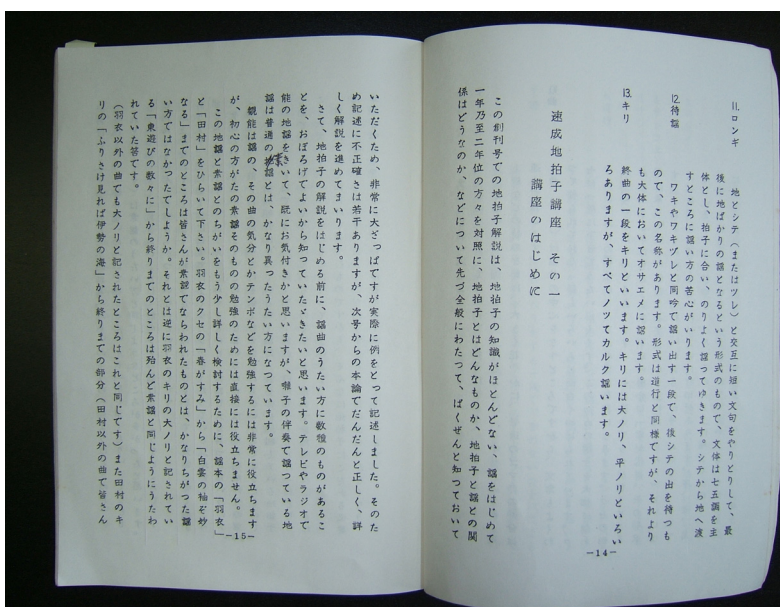
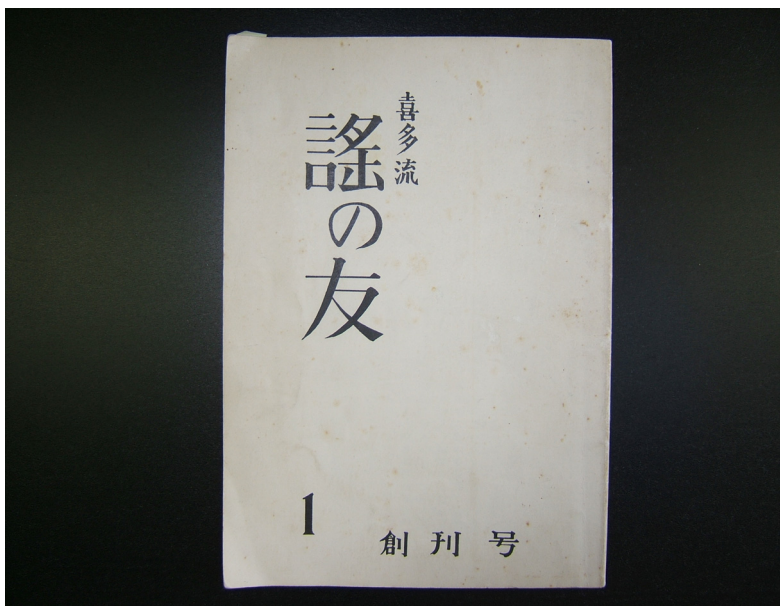


荒川基一 『喜多流 謡の友 1 創刊号』

著者は喜多流。「創刊のことば」には、本書が「謡曲を音楽として研究するための雑誌」を目指したとある。内容は、謡い方入門講座、速成地拍子講座、謡い方研究、地拍子関係古典書の紹介等。地拍子記事の比率も高い。写真下は速成地拍子講座の冒頭部分。この記事の最後、平(小)ノリの実際の謡い方として「二、三、六文字目をねばつくく引いてうたう」(「こーこもーたえなーりあまつかぜ」のように持つ) 謡い方が紹介され、八割に図示されている。実態と図を整合させる精神の現れとして興味深い。



標題 内題…

標題紙…

奥附…

その他…喜多流 謡の友 1 創刊号(表

紙)

著者 奥附…荒川基一

その他の場所…喜多流謡教授 荒川基一

(序)

出版 版次…第一版

出版地…不明

出版社…荒川基一

出版年…昭和45(1970)

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…四〇頁

寸法…22×15 (cm)

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考